

放射線技術部便り

～ vol. 9 ～

白十字病院 放射線技術部 広報誌



長崎ハウステンボス

～MRI検査ってどういう検査？～

●最近では、テレビでもMRI検査を行っているシーンがありますが、実際どのような検査か今回ご紹介いたします。

MRI検査は磁気を使って体の画像を作る装置です。よく似ている検査でCT検査がありますが、こちらはX線を利用して画像を作っています。

MRI検査は、体に磁気をあてそこから返ってくる信号をキャッチして体の情報を得て画像にする装置になります。

磁気といってもイメージが少しわきにくいと思いますが、私たちが普段使用している電子レンジも磁気を使って食べ物や食材を温めています。

(※MRIの磁気と周波数が異なります)

そのため、MRI検査を行うと個人差はありますが体が少し温かくなる場合があります。

またCT検査では胸～腹部と広範囲に検査をすることが可能ですが、MRI検査では検査をする場所にコイルという機械を取り付けて検査をする必要があるため同時に広範囲を検査することができません。

当院のMRI装置



いろいろなコイル 左から頭部用、腹部用、膝用、乳腺用



MRI検査とCT検査の比較

MRI

CT

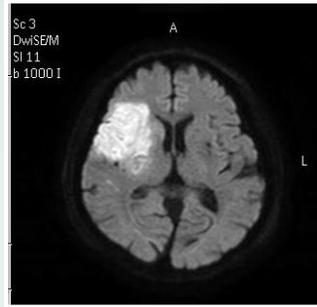
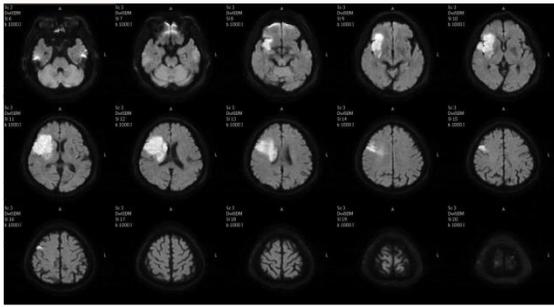
磁気を使用
検査時間が長い(15～30分)
検査範囲が狭い
軟部組織が良く見える
圧迫感がある
音がうるさい

X線を使用
検査時間が短い(5～15分)
検査範囲が広い
空気がある所(肺など)も見える
圧迫感があまりない

※それぞれに患者さんの病気や状況によって使い分けるので、どちらが優れているというわけではありません。

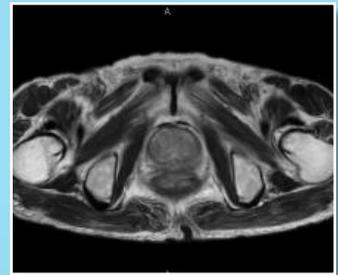
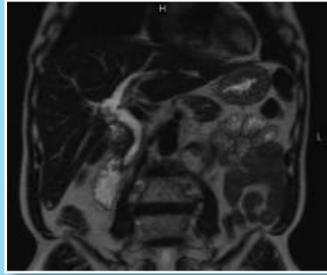
お医者さんの指示にしたがって検査は受けていただくことが、最善です！

～急性期脳梗塞に有用なMRI検査～



上の画像はDWI（ディュージョソ）という画像になります。急性期の脳梗塞が疑われる場合は、頭部MRI画像のDWI画像が非常に有効です。上の画像の白く輝いている部分が急性期脳梗塞を起こした部分になります。特にすばやい治療を求められる急性期の脳梗塞はCT検査よりもMRI検査が非常に有効です。

頭部以外にもさまざまな部位も検査可能です。



TOPICS

新型コロナウイルスにご注意下さい！！



最近の話題はほとんど新型コロナウイルスのことばかりになっています。皆さんの予防に対する意識は十分高いと思いますが、ウイルスは何処に潜んでいるかわかりません💡できるだけ人込みを避け、室内では喚起を行いましょう。アルコールによる手指消毒も効果的です。

もし、37.5度以上の発熱が続いたり、咳や痰の症状が続く方は最寄りの保健所にご相談下さい。高い意識でコロナウイルスに打ち勝ちましょう！！